

一 般 質 問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

Q 世界遺産に登録された本市の縄文遺跡の魅力を広く伝えるために、縄文荒吐会^{あらはき}の縄文創作太鼓を復活させては。

【市長】

A 4年ほど前に一度、市の若手職員を動員し承継に取り組んだが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。さまざまな場面で活動させたいので、復活に向けて形態やメンバー構成などをしっかり検討したい。

Q 復活後は地域おこし協力隊や市若手職員にも協力を依頼し、次世代への承継に取り組んでみては。

【総務部長】

A 伝統芸能や文化の保存・継承は、地域活力の増進につながる重要なものであるため、市が支援することは必要である。地域おこし協力隊を活用できるよう、今後の募集などについて検討するほか、市職員が担い手として協力できるよう、環境整備を進めたい。

Q 令和7年度から実施される、

P12「契になるワード」で解説

5歳児健康診査の内容について詳細な説明を。

【健康福祉部長】

A 乳幼児健康診査と同様に子どもの誕生月に市民健康づくりセン

縄文創作太鼓 ▶ 5歳児健康診査



いつわが五和会 成田 かつこ 子

ターで実施する。診査は身体発育状況と栄養状態、精神発達、言語障害の有無、育児上問題となる事項、その他疾病および異常の有無の6項目で、保護者負担なしで受診できる。

Q 健診時に支援が必要と判定された場合の保護者への対応方法は。

【健康福祉部長】

A こども家庭庁が示す5歳児健康診査マニュアルを参考にし、対応にあたる。また、すでに乳幼児健康診査で実施しているフォローアップ体制を活用し、健診に携わった専門スタッフ間で情報を共有、支援方針等を検討したうえで、子どもの成長や発達を促す取り組みを保護者と一緒に考えていく。

Q 市による防犯カメラの設置状況は。また、市民が自宅等に防犯カメラを設置する際の費用を補助できないか。

【総務部長】

A 小・中学校と通学路などを中心に計37台設置しており、設置部署が管理している。購入費用等の補助については、想定される事業の規模や財源を考慮しながら、検討したい。

Q 防犯対策の観点から、犯罪情報を市公式LINEで発信し、市民に注意喚起しては。

【総務部長】

A 関係機関と連携し、注意喚起が必要と判断した場合には、市公式LINEやホームページ等で迅速に情報提供できるよう、体制の整備に努めたい。

Q 令和7年度から始まる带状疱疹ワクチンの定期接種の内容について、詳細な説明を。

【健康福祉部長】

A 自己負担額は生ワクチンが1回接種で4千円。組換えワクチンは2回接種で1回あたり1万円を予定しており、生活保護受給者は自己負担なしで接種できる。

対象年齢については、次のとおり。

帯状疱疹ワクチン ▶ 防犯対策の強化



みつはし 三橋あさみ 無会派

※対象年齢

- ・該当年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳に到達する方
- ・100歳以上の方
- ・60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方

Q 生ワクチンと組換えワクチンのどちらを接種すべきか判断に迷わないよう、周知が必要では。また、50歳以上65歳未満の方も助成対象にできないか。

【健康福祉部長】

A 対象者へ郵送する接種書類に接種方法や間隔効果の持続期間、接種費用等を記載したチラシを同封するほか、広報等でも周知を図りたい。

助成対象の拡大については、国や県内市町村の動向を確認しながら、検討したい。

一 般 質 問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

Q 中学校の部活動を地域クラブや団体に委ねる部活動地域移行の取り組みが全国的に進められている。本市の進捗状況は。

【教育部長】

A 地域移行に向けて、各競技ごとに作業部会が議論している。野球はすでに合同チームで大会に出場しているため、顧問の先生が中心となり、令和7年度に野球クラブを市内に設立予定である。

Q 過度な指導や体罰等が行われないよう、指導者マニュアルの作成が必要では。また、クラブの管理や運営に対し財政的支援を行う予定はあるか。

【教育部長】

A 指導者マニュアルについては未作成のため、今後、作成する。財政的支援については設立初年度に限り、指導員への報酬として18万円、ユニホーム代などとして補助金25万円を交付予定である。

Q 多くの自治体で業務のDX化を進めているが、本市のおもな取り組み状況は。

【総務部長】

A 令和5年度にスマート窓口の運用を開始し、キャッシュレス決済の導入や運転免許証等の身分証明書の読み込みにより、手書き不

つがる市のDX
部活動地域移行



いつわかい ひらた こうすけ
五和会 平田 浩介



要で各種証明書の発行申請を可能にした。そのほか、各種行政手続きをオンラインでも利用できるよう、整備に取り組んでいる。

Q 本市のDXの課題点と、その対応について説明を。

【総務部長】

A 各種オンライン申請手続きの利用率の低さが課題であり、利用方法の周知不足等が要因と考える。業務効率化による人手不足の解消は本市にとって重要であるため、職員のデジタルスキル向上を図るとともに、市民向けにIT講習会等の開催を検討したい。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：デジタル技術を活用して、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させること。

Q 稲作農家にとって脱穀後に発生する、もみ殻の処理が大きな負担になっている。

本市の処理状況は。また、どのような処理方法が最適と考えるか。

【経済部長】

A 農地などで焼却処理している農家もいるが、大半は市内にある集積所に各自で運搬し、畜産農家が敷料として使用している。

近年、地球温暖化が問題視されているため、焼却処理ではなく、敷料や資材等に有効利用されることが重要だと考える。

Q 昨年11月、総務常任委員会の行政視察において、もみ殻でバイオ炭（くん炭）を製造する装置の視察見学を行った。

処理費用削減のほか、環境負荷の軽減や肥料、消雪剤としての活用など、本市の農業の発展に大きく役立つものと考えているが、装置を導入する考えはあるか。

【市長】

A 本市の水稲面積は広大で莫大な量のもみ殻が発生しており、敷料や肥料として使いきれなかった場合は、焼却処理されているのが現状だと考える。

本市では、メーカーと稲わらともみ殻の利活用に関する協定を結び、すでに有効活用に取り組んで



行政視察の様子＝令和6年11月7日、滋賀県 高島市

おり、土木資材へ製品化されている。もみ殻バイオ炭の製造装置については、さまざまな可能性を秘めているものの、集積場所や運搬方法、プラント形態など、どの場合が最適か見極める必要がある。市に適したもみ殻の処理やバイオ炭の有効活用の方法を研究、検討しつつある市型の処理形態を確立させたい。

もみ殻バイオ炭製造装置



いつわかい やまうち まさる
五和会 山内 勝



一 般 質 問



議員が市の行政全般について市長等の執行機関に質問します。
QRコードから各議員の質問詳細を動画でご覧になれます。

Q 令和7年度から、収入保険と収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の加入者への保険料補助を行わないと聞いたが、その理由は。

【経済部長】

A 加入件数は補助開始の令和3年以降増え、令和4年の1177件をピークにここ2年間、安定している。農家に制度が定着してきたと感じ廃止するが、状況が変われば改めて検討したい。

Q 米価高騰を受けて、令和7年産の主食用米の作付増加が予想されるが、本市の状況は。

【経済部長】

A 昨年は生産数量目標5510㌔に対し、作付面積5779㌔で、生産数量目標を269㌔上回る作付けが行われた。

今年の作付面積は3月から受け付けのため未確定だが、生産数量目標は前年比99㌔増の5609㌔である。米価高騰を背景に、昨年同様、生産数量目標を超える作付けが予想される。

Q 農協等との加工米や備蓄米の出荷数量の契約について、実際の出荷数量が著しく低かった場合、次年度に生産者が経営上不利を被ることはあるか。

市による農業支援



さいとう わたる 齊藤 渡
ましんかい 絆心会



【経済部長】
A 経営上不利を被ることはないが、契約数量未達成の場合には違約金が発生する。また、令和6年産のように加工米や備蓄米の集荷量を減らし主食用米を増やすと、生産過剰による米価下落を招く恐れもある。

Q 市による農業支援の今後の展望は。

【市長】

A 高齢化や人口減少による担い手不足が深刻化する中で、従来のコメ作りの工程を変えていく必要があると考える。

作業効率化や負担軽減を目的に、さまざまな直播き栽培の方法を研究する組織の立ち上げを検討するほか、先端技術を活用したスマート農業の推進を図りたい。

新体制でスタートします

2月12日、成田克子副議長から一身上の都合を理由に辞職願が提出されました。同日付けで辞職を許可し、令和7年第1回つがる市議会定例会において副議長の選挙が行われ、指名推選により長谷川榮子議員が当選しました。

また、各常任委員会、議会運営委員会、議員政治倫理審査会の委員選任のほか、議会改革特別委員会の委員補充も行われました。

※各委員の構成については7ページを参照

就任あいさつ

この度、議員の皆様方のご推挙を賜りまして、つがる市議会副議長に就任することになりました。心から感謝を申し上げます。

副議長という重責を痛感しているところではございますが、木村議長とともに議員の皆様方の温かいご支援を仰ぎつつ、また市長をはじめ理事者の皆様方のご協力を得まして、市議会の円滑な運営に尽力してまいります。

今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 長谷川 榮子
はせがわ えいこ